

組合に加入して、
「評価・育成システム」を
なくそう！

泉北教育

NO.1919 2013.3.5
発行 泉北教職員組合
〒594-0071 和泉市府中町6-12-2
TEL0725-41-1953 Fax0725-44-6570
E-mail senboku@gf6.so-net.ne.jp

和泉市 新設校は小中一貫校？ はつが野地区

突然の提案、 教職員は蚊帳の外？

和泉市教育委員会は、3月市議会において、

平成25年度から小中一貫教育の取組みを進め、平成29年度から全中学校区で実施する。平成29年4月に青葉はつが野

小学校と南池田中学校から分離新設する施設一体型小中一貫校を開校する予定で、平成25年度中に設計発注手続きをスタートする。

との内容を説明するとしています。

昨年秋に泉北教組が提出した要求書の過大規模解消のために新設校を建設すること。また、今後児童生徒増が予想される学校については、学校の新設や校舎増築で対応し、プレハブ使用を避けること。」との要望に対し、長

期的な児童推計等を勘案し考えていかなければならないと認識しております。」と文書回答していることから考えても、あまりにも急な展開です。

建設予定地が校区になる住民への十分な説明もないばかりか、私たち教職員との事前協議も無いまま、議会にかけられるというには納得のいくものではありません。

教職員や父母と 慎重に検討を

また、先行実施されている東京都品川区では、「じめ」不登校の増加、小学校高学年の自尊感情低下などの弊害が指摘され、学校選択制の下で施設一体型小中一貫校内での内部進学率が極端に低くなっていることなども報告されています。

以上のことから、泉北教組は小中一貫教育および施設一体型小中一貫校についても時間をかけて、慎重に検討すべきであると考え、左の3点を要望する要望書を市教委に提出し交渉を予定しています。

(1) 小中一貫教育の実施計画について、先に結論を決定するのではなく、教職員や父母が議論する時間を保障すること。

(2) 施設一体型小中一貫校の建設計画を中止し、過大規模解消のために新設小学校および新設中学校を建設すること。

小中一貫校問題

和泉市教委交渉

3月14日(木) 18時

市役所

青年フェスタ今年も大成功！

「ロジック・ナガサキ・フクシマから」の国を救え
アーサー・ビナードさんの講演に感銘

今年の全体講演はアーサー・ビナードさんでした。核兵器、原発問題について、流暢な日本語でいいねいに語る姿に、聞く人は大きな感銘を受けました。

ビキニ水爆実験の 真実

最初にふれた話は、第五福竜丸についての話でした。アメリカではラッキードラゴンと呼ばれるこの話について、日本では「被爆してしまったかわいそうな水夫たち」といった話でおさめられていることに、ビナードさんは、違和感を感じると話されました。アメリカにとつて、水爆実験をした事実、軍事機密であり、第五福竜丸の乗組員たちが被爆したことは抹消すべき出来事なのです。乗組員たちが日本に帰ってくることを自体が奇跡であり、単なる偶然ではないのです。第五福竜丸の乗組員たちは、無線で居場所を知らせることなく、米軍に見つか



原子力の危険な正体

ナガサキとヒロシマに落ちた原爆の成分は何か、知っていますか？ ヒロシマは、抽出に手間のかかるウラン弾です。ウランを爆発させてできるものが、プルトニウム。そのプルトニウムで作られたのがナガサキの原爆なのです。兵器としてのプルトニウムを得るためには、大爆発

させず、じりじりと抽出する必要があります。その機械が、原子炉なのです。ビナードさんは、日本語の漢字の持つ良さと同時に恐ろしさがあると話されました。原子炉とみんなが集まりあたたまる「爐」の漢字を使うことで、原子力安全説が生まれ、その結果原発が日本全土に広がっていったのです。原子力の問題を電気の問題に置き換えてはいけません。原子力(核)は、大量虐殺兵器を作る道具なのです。

実技講座は 楽しさいっぱい

二日目の実技講座では、ヨガ、作文などの実技講座。レクリエーションの講師は泉北教組の宮下先生でした。グループに分かれてのゼスチャーゲーム、今はやりの「あたりまえ体操」など、大盛り上がりで、会場は笑いでいっぱいでした。



あなたも泉北教職員組合へ